



未知に挑む  
～南十字星のもとに～

「館山沖で沈没する」  
学者の宣言を覆す



白瀬南極探検隊100周年記念特集

その九



富士山の姿を仰ぎつつ、  
白瀬隊を最後まで見送る  
後援会幹事や取材の新聞  
記者等が下船するため、  
夜中11時過ぎに千葉県の  
館山港に到着。

後援会幹事の田中弘之  
や東京朝日新聞の松崎天  
民らによる告別の言葉の  
後、白瀬は「南極探検に従事する一行  
は、今や数時間ももつて、祖国を辞す  
るに至りました。これひとえに諸君が  
後援の賜物であります。私どもは一度  
祖国を乗り出した以上、素志を貫徹せ  
ば、再び生きて諸君に見えぬ覚悟をも  
つて、勇往邁進いたします」と決死の  
覚悟を述べます。

同幹事の佐々木安五郎  
による万歳三唱、君が代  
齊唱で最後の激励をし、  
見送りの人々は、ボート  
で下船しました。

翌日、白瀬隊は日暮れころに出航し  
ますが、雲行きが怪しくなり急激に悪  
天候となつたため、再び、館山港に戻  
つて避難しました。12月1日、依然と  
して天候が変わらないものの、2日も  
空費したため、野村直吉船長は出航す  
ることを決断します。荒波で船体が揉  
まれ、隊員たちは甲板下の船室に逃げ  
込んでいましたが、白瀬と衛生部長の  
三井所清造は

荒波を越える開南丸  
雨で体を洗う隊員たち

船酔いに苦し  
みながらも、  
波が押し寄せ  
る甲板上に起  
立していたと  
いいます。

出発前には  
「館山沖へ行  
くか行かぬう  
ともありました。  
一方、開南丸はモールス信号などの  
通信設備を搭載しておらず、日本では、  
ニュージーランド寄港の際に投函した郵  
便が届くまで、4カ月間、探検隊の状  
況が分かりませんでした。そのため、郵  
便鉄信という予言家が、開南丸の現  
状と未来を予言していました。

は「このまま虚しく海の藻屑となるの  
はあまりに恨めしいと神に祈った」と  
書かれています。そんな中、傾斜の嚴  
しい甲板で帆を操り、帆柱に上つて作  
業にあたる船員たちの仕事ぶりに、魂  
が震えたと感動しています。このよう  
にして館山沖での嵐を乗り越え、最初  
の難関を越えて、南極へ向かつたので  
した。

その後、開南丸は同44年2月8日に  
補給のため、ニュージーランドのウエリ  
ーに発行されています。

1日に発行されています。

が2月5日としたことや、  
奈雪鉄信という予言家が、開南丸の現  
状と未来を予言していました。

が2月5日としたことや、  
奈雪鉄信という予言家が、開南丸の現  
状と未来を予言していました。

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所  
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地  
☎0184-43-3200（代表）☎0184-43-7510（直通）  
ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp> 電子メールアドレス [info@city.nikaho.lg.jp](mailto:info@city.nikaho.lg.jp)



2011 热戦再来 北東北総体  
北の空、南の無限の可能性

にかほ市は平成23年度インターハイサッカー競技の開催地です。

広報 Nikaho City

にかほ

奉

## 1年の無事を願う

大晦日から元旦にかけ、市内では初詣で  
に訪れる市民の姿が見られました。

3が日には「獅子」が家々をまわって舞  
を披露。1年の無事を願う、穏やかな正月

の風景が各所で見られました。

(表紙写真は琴浦・熊野神社の獅子舞)

=関連記事は8ページ=

### 主な内容

- 12月定例市議会 ..... P 2 ~ 3
- 確定申告のお知らせ ..... P 4 ~ 7
- まちの話題 ..... P 8 ~ 9
- 生活環境情報 ..... P 11

vol.128

2011

1.15

<http://www.city.nikaho.akita.jp>

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます